

取り組み実績の点検について

湖西市総合交通戦略
令和3年3月

静岡県湖西市

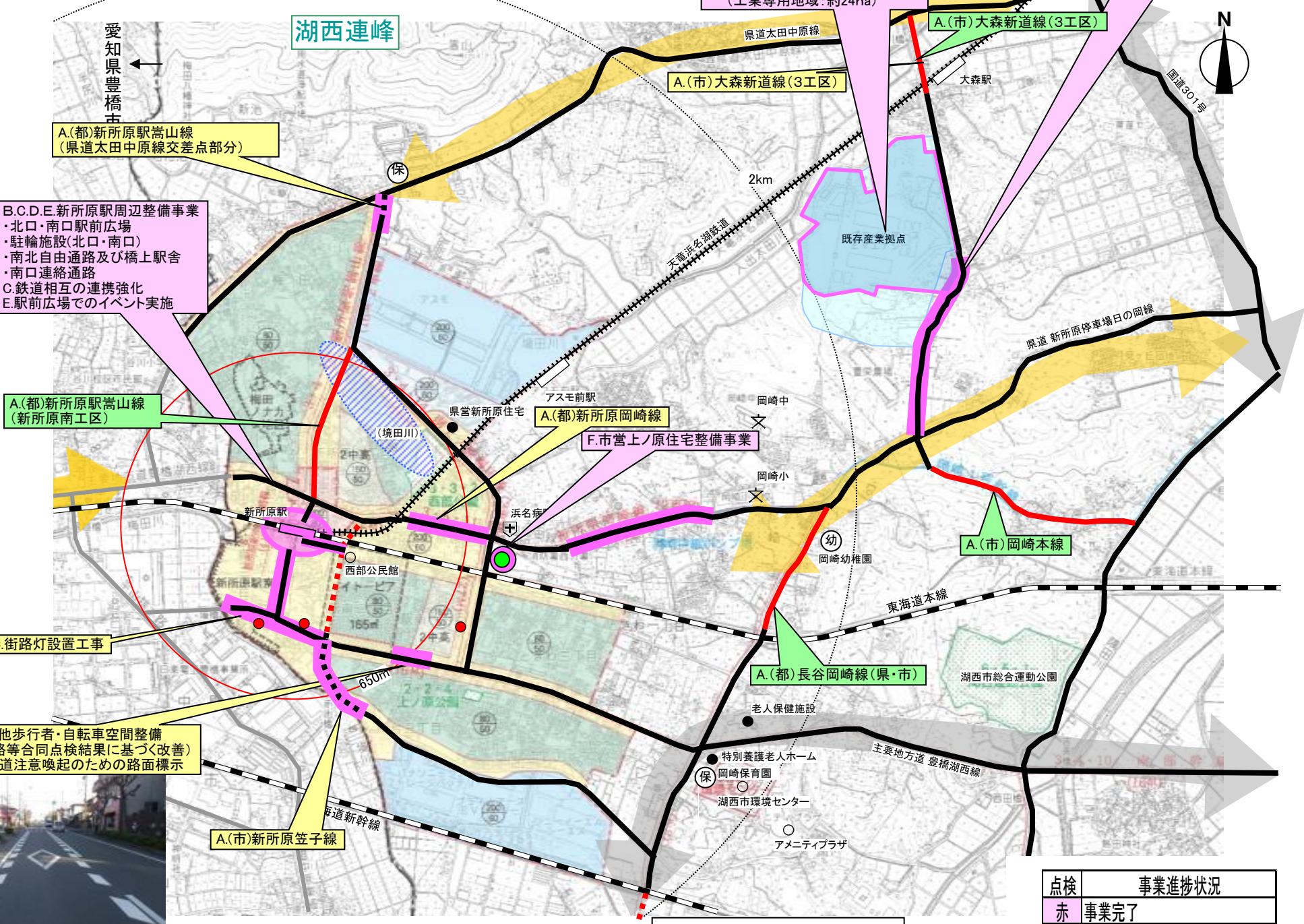
No.	種別 (注1)	基本目標との関係	戦略における 取り組み項目・施策名	実施関係 機関	戦略における 実施予定	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 実績
1	A (a)	Ⅱ(利便性)	国道301号	県	着手	—	—	—
2		Ⅱ(利便性)	(都)三ツ谷一の橋線→(都)分川一の橋線	市	着手	—	—	—
5		Ⅱ(利便性)	(都)鷺津駅谷上線	市	着手	用地測量	用地買収	用地買収・工事施工
6		Ⅱ(利便性)	(都)松山茶屋松線→(都)大倉戸茶屋松線	県・市	H27年度 計画決定	—	—	—
					着手	事業化に向けた要望・調整 (鷺津地区)	事業化に向けた要望・調整 (鷺津地区)	事業化に向けた要望・調整 (鷺津地区)
7		Ⅱ(利便性)	(都)南部幹線	県・市	着手	事業化に向けた要望・調整	事業化に向けた要望・調整	事業化に向けた要望・調整
8		Ⅱ(利便性)	都市計画道路の再検証	市	再検証実施	—	—	—
10		B (b)	Ⅰ(安全・安心)	市道整備(小名川12号線など)、交通安全施設整備	市	継続実施	—	—
11	Ⅰ(安全・安心)		歩行者・自転車空間整備、道路空間の再配分、ゾーン30の設定等	道路管理者 警察	継続実施	通学路合同点検結果に基づく改善	通学路等合同点検結果に基づく改善	通学路等合同点検結果に基づく改善
12	C (c)	Ⅰ(安全・安心)	鉄道とバスの接続ダイヤ見直しによる 乗り継ぎ時間の短縮、連携強化	市 交通事業者	継続実施	公共交通会議による検討	公共交通会議による検討	公共交通会議による検討
13		Ⅰ(安全・安心)	駅・バス停など公共交通機関の高質化 (通路シェルター、サイン・案内板等(多言語化)等の整備)	市 交通事業者	継続実施	鷺津駅通路シェルター 駅前部分の設置に向けた検討	鷺津駅通路シェルター 駅前部分の設置	—
14		Ⅱ(利便性)	鷺津駅前駐輪場整備	市	H28年度 事業完了	—	—	—
15	D (d)	Ⅰ(安全・安心)	歩きやすい歩道整備(段差解消等)	道路管理者	継続実施	定期的な道路パトロール及び 地元要望への対応による 歩行者環境の改善	定期的な道路パトロール及び 地元要望への対応による 歩行者環境の改善	定期的な道路パトロール及び 地元要望への対応による 歩行者環境の改善
16	E (e)	Ⅰ(安全・安心)	鷺津駅前地区土地区画整理事業	市	H29年度 事業完了	清算金徴収事務	清算金徴収事務	清算金徴収事務
17		Ⅰ(安全・安心)	基盤未整備区域の面整備誘導(啓発及び誘導支援)	市	継続実施	市街地における面整備 実現に向けた啓発・誘導	市街地における面整備 実現に向けた啓発・誘導	市街地における面整備 実現に向けた啓発・誘導
18		Ⅰ(安全・安心)	開発指導(適正な土地利用誘導)	市 民間事業者	継続実施	窓口による開発指導	窓口による開発指導	窓口による開発指導
20	F (f)	Ⅲ(活力)	保育所等建設事業(民間保育所の誘致・公立保育所の改築)	市	継続実施	市立新居幼稚園の 認定こども園化に向けた改築	市立新居幼稚園の 認定こども園化に向けた改築 民間認定こども園の新築助成	市立岡崎幼稚園の 認定こども園化に向けた改築
21		Ⅲ(活力)	鷺津駅周辺への商業施設誘導策 (湖西市鷺津駅前地区商店街イベント活動強化事業)	商業者・市	継続実施	商店街組合のイベント活動への 補助 キラキラフェスタinこさい (駅前ロータリーイルミネーション)	商店街組合のイベント活動への 補助 キラキラフェスタinこさい (駅前ロータリーイルミネーション)	商店街組合のイベント活動への 補助 キラキラフェスタinこさい (駅前ロータリーイルミネーション)
22		Ⅲ(活力)	駅前広場を活用したイベントなどの開催 (湖西おいでん祭など)	市民・市	継続実施	湖西おいでん祭の開催	湖西おいでん祭の開催	湖西おいでん祭の開催(中止)
23	F (f)	Ⅲ(活力)	鷺津駅前広場モニュメント設置	市	H28年度 事業完了	—	—	—

(注1)「種別」
A: まちの骨格を形成する道路体系の確立
B: 徒歩圏内の移動手段の確保
C: 拠点駅における乗り継ぎ利便性・快適性の向上
D: 駅周辺のバリアフリー化
※R2年度以降に実施予定の事業は表示から除く。

E: 安全で利便性の高い都市基盤の整備(中心拠点の土地利用を促進)
F: 回遊性を生み出す施設誘導・公園等の整備・イベント等の開催

点検	事業進捗状況
赤	事業完了
黄	事業実施中
緑	取組み検討中、または未実施

生活拠点(新所原駅周辺)【主な取組み実績(R3.3末現在)】



- 【ハード施策】**
- B.市道整備、交通安全施設整備
 - B.歩行者・自転車空間整備、道路空間の再配分
 - C.駅・バス停など公共交通機関の高質化
 - D.歩きやすい歩道整備(段差解消等)
 - F.基盤未整備区域の面整備誘導
- 【ソフト施策】**
- C.鉄道とバスの接続ダイヤ見直しによる乗り継ぎ時間の短縮、連携強化
 - F.開発指導、まちづくり誘導(まちづくり研究会)
- 【駅勢圏】**
- 徒歩圏: 650m = 徒歩による駅までの平均所要時間9.6分 × 平均歩行速度4km/h(設定)より算定
 - 自転車圏: 2km = 自転車による駅までの平均所要時間13.2分 × 平均走行速度9m/h(設定)より算定
 - (※第4回西遠都市圏パーソントリップ調査より)

● 事業中

- 短・中期(継続含む)
- 長期
- 整備済(概成を含む)

● 駅周辺整備事業

- 土地区画整理事業(計画・誘導)
- その他施設整備
- 主な商業施設
- 公営住宅・主要福祉施設

● 骨格道路(都市間ネットワーク)

● 拠点間ネットワーク



点検	事業進捗状況
赤	事業完了
黄	事業実施中
緑	取組み検討中、または未実施

施策の取組みに着手した区間

※戦略目標年次(～H32)までの着手を目指すもの

出典:土木管理課資料

No.	種別 (注1)	基本目標との関係	戦略における 取り組み項目・施策名	実施関係 機関	戦略における 実施予定	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 実績
1	A (a)	Ⅱ(利便性)	(都)新所原駅嵩山線(県道太田中原線交差点部分)	市	着手	用地買収・工事施工	事業完了	—
			〃 (新所原南工区)		着手	事業化に向けた調整	事業化に向けた調整	事業化に向けた調整
Ⅱ(利便性)		(都)新所原岡崎線	県	着手	用地交渉	用地交渉	用地交渉	
Ⅱ(利便性)		(市)新所原笠子線	市	着手	用地測量・用地買収・工事施工	用地買収	用地買収・工事施工	
4		Ⅱ(利便性)	(市)大森新道線(2工区)	市	着手	—	—	—
			〃 (3工区)		着手	事業化に向けた調整	事業化に向けた調整	事業化に向けた調整
5	Ⅱ(利便性)	(市)岡崎本線	市	着手	事業化に向けた調整	事業化に向けた調整	事業化に向けた調整	
6	Ⅱ(利便性)	(都)長谷岡崎線	県・市	着手	事業化に向けた要望・調整	事業化に向けた要望・調整	事業化に向けた調整	
7	B (b)	I(安全・安心)	市道整備(新所原駅南北自由通路など)交通安全施設整備	道路管理者	継続実施	—	—	—
8		I(安全・安心)	歩行者・自転車空間整備、道路空間の再配分、ゾーン30の設定等	道路管理者 警察	継続実施	通学路合同点検結果に基づく改善	通学路等合同点検結果に基づく改善	通学路等合同点検結果に基づく改善
9	C (c)	Ⅱ(利便性)	北口・南口駅前広場(新所原駅周辺整備事業)	市	H30年度 事業完了	北口駅前広場の整備 南口駅前広場の整備	— (H30事業完了)	—
10		Ⅱ(利便性)	北口・南口駐輪施設(新所原駅周辺整備事業)	市	H28年度 事業完了	—	—	—
11		Ⅱ(利便性)	鉄道とバスの接続ダイヤ見直しによる乗り継ぎ時間短縮、連携強化	市 交通事業者	継続実施	公共交通会議による検討 交通網形成計画記載事業の実施	公共交通会議による検討 交通網形成計画記載事業の実施	公共交通会議による検討 交通網形成計画記載事業の実施
12		Ⅱ(利便性)	鉄道相互のサービス向上に向けた連携強化	市 交通事業者	継続実施	公共交通会議による検討 交通網形成計画記載事業の実施	公共交通会議による検討 交通網形成計画記載事業の実施	公共交通会議による検討 交通網形成計画記載事業の実施
13		Ⅱ(利便性)	駅・バス停など公共交通機関の高質化 (バリアフリー化、多目的トイレ、案内板等多言語化、防犯施設等)	市 交通事業者	H30年度 事業完了	新所原駅北口駅前広場 (バリアフリー化、案内板等多言語化)	— (H30事業完了)	—
14	D (d)	I(安全・安心)	歩きやすい歩道整備(段差解消等)	道路管理者	継続実施	定期的な道路パトロール及び 地元要望への対応による 歩行者環境の改善	定期的な道路パトロール及び 地元要望への対応による 歩行者環境の改善	定期的な道路パトロール及び 地元要望への対応による 歩行者環境の改善
15		I(安全・安心)	南北自由通路及び橋上駅舎 (新所原駅周辺整備事業)	市	H29年度 事業完了	—	—	—
15	E (g)	Ⅱ(利便性)	【再掲】南北自由通路及び橋上駅舎 (新所原駅周辺整備事業)	市	H29年度 事業完了	—	—	—
16		Ⅲ(活力)	駅前広場を活用したイベントなどの開催(新所原夕涼みウオークなど)	市民・市	継続実施	自治会による納涼祭・秋祭りの実施	新所原駅広バルの実施	※コロナ禍のため中止
17	F (e)	I(安全・安心)	基盤未整備区域の面整備誘導、 生活道路整備(啓発及び誘導支援)	市	継続実施	市街地における面整備 実現に向けた啓発・誘導	市街地における面整備 実現に向けた啓発・誘導	市街地における面整備 実現に向けた啓発・誘導
18		Ⅲ(活力)	市営住宅整備事業(上ノ原住宅)	市	H26年度 事業完了	—	—	—
19		I(安全・安心)	開発指導(適正な土地利用誘導)	市 民間事業者	継続実施	窓口による開発指導	窓口による開発指導	窓口による開発指導
20		Ⅲ(活力)	まちづくり誘導(まちづくり研究会)	市民・市	継続実施	新所原駅周辺工事の地元周知活動	— (H30事業完了)	—

(注1)「種別」
A: まちの骨格を形成する道路体系の確立
B: 徒歩圏内の移動手段の確保
C: 拠点駅における乗り継ぎ利便性・快適性の向上
D: 新所原駅及び駅周辺のバリアフリー化
※R2年度以降に実施予定の事業は表示から除く。

E: 歩行者の南北自由移動の確保
F: 安全で利便性の高い都市基盤の整備(拠点の土地利用を促進)

点検	事業進捗状況
赤	事業完了
黄	事業実施中
緑	取組み検討中、または未実施

生活拠点(新居町駅周辺)

No.	種別 (注1)	基本目標との関係	戦略における 取り組み項目・施策名	実施関係 機関	戦略における 実施予定	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 実績
1	A (a)	Ⅱ(利便性)	国道1号潮見バイパスの整備促進	国・県・市	着手	交通事故重点対策事業実施中	交通事故重点対策事業実施中	交通事故重点対策事業実施中
2		Ⅱ(利便性)	国道301号歩道整備	県	着手	—	—	—
3		Ⅱ(利便性)	(都)浜名線	市	着手	—	—	—
4		Ⅱ(利便性)	(都)松山弁天線→(都)浜名弁天線	市	着手	事業化に向けた調整	事業化に向けた調整	事業化に向けた調整
5		Ⅱ(利便性)	(都)松山茶屋松線→(都)大倉戸茶屋松線	県・市	H27年度 計画決定	—	—	—
					着手	事業着手・詳細設計 物件移転補償調査 (新居地区)	用地買収・工事施工 (新居地区)	用地買収・工事施工 (新居地区)
6		Ⅱ(利便性)	都市計画道路の再検証	市	再検証実施	—	—	—
8		Ⅱ(利便性)	市道整備(新居斎場進入道路など)、交通安全施設整備	市	継続実施	用地交渉(斎場進入路)	用地交渉(斎場進入路)	用地交渉(斎場進入路)
9	B (b)	Ⅳ(環境)	浜名川緑道整備事業	市	着手	—	—	—
2		Ⅰ(安全・安心)	【再掲】国道301号歩道整備	県	着手	工事施工	工事施工	工事施工
10		Ⅰ(安全・安心)	歩行者・自転車空間整備、道路空間の再配分、ゾーン30の設定等	道路管理者 警察	継続実施	通学路合同点検結果に基づく改善	通学路等合同点検結果に基づく改善	通学路等合同点検結果に基づく改善
11		Ⅲ(活力)	歴史と自然をつなぐ歩行者ネットワークの形成 (新居関所周辺活性化協議会、新居宿街まち歩きマップなど)	市民・市	継続実施	「オンパク」手法を活用した まち歩きプログラムの造成 (市民団体)	「オンパク」手法を活用した まち歩きプログラムの造成 (市民団体)	「オンパク」手法を活用した まち歩きプログラムの造成 (市民団体)
12		Ⅰ(安全・安心)	国道301号・新居浜名線(現道区間)の活用	国・県・市	着手	浜名湖サイクルツーリズム推進会議の実 施	浜名湖サイクルツーリズム推進会議の実 施	浜名湖サイクルツーリズム推進会議の実 施
13		Ⅰ(安全・安心)	基盤未整備区域の面整備誘導(啓発及び誘導支援)	市	継続実施	市街地における面整備 実現に向けた啓発・誘導	市街地における面整備 実現に向けた啓発・誘導	市街地における面整備 実現に向けた啓発・誘導
14	C (c)	Ⅱ(利便性)	鉄道とバスの接続ダイヤ見直しによる乗り継ぎ時間 短縮、連携強化	市 交通事業者	継続実施	公共交通会議による検討	公共交通会議による検討	公共交通会議による検討
16		Ⅱ(利便性)	駅・バス停など公共交通機関の高質化 (バリアフリー化、案内板(多言語化)、防災施設等)	市 交通事業者	継続実施	乗継案内チラシによる広報 交通網形成計画に基づく事業の検討	乗継案内チラシによる広報 交通網形成計画に基づく事業の検討	乗継案内チラシによる広報 交通網形成計画に基づく事業の検討
17	D (d)	Ⅰ(安全・安心)	歩きやすい歩道整備(段差解消等)	道路管理者	継続実施	定期的な道路パトロール及び 地元要望への対応による 歩行者環境の改善	定期的な道路パトロール及び 地元要望への対応による 歩行者環境の改善	定期的な道路パトロール及び 地元要望への対応による 歩行者環境の改善
18	E (h)	Ⅲ(活力)	関所地区(新居町景観計画)	市	継続実施	届出件数:3件	届出件数:1件	届出件数:2件
19		Ⅳ(環境)	風致地区の保全(啓発・指導)	市	継続実施	指導件数:3件	指導件数:2件	指導件数:9件
20		Ⅰ(安全・安心)	湖西市内山土地区画整理事業	市	H26年度 事業完了	—	—	—
21		Ⅰ(安全・安心)	開発指導(適正な土地利用誘導)	市 民間事業者	継続実施	窓口による開発指導	窓口による開発指導	窓口による開発指導
22		Ⅲ(活力)	歩道修景(国道301号関所地区)	県・市	H26年度 事業完了	—	—	—
23		Ⅲ(活力)	電線共同溝(国道301号関所地区)	県・市	H26年度 事業完了	—	—	—
24		Ⅲ(活力)	新居関跡保存整備事業	市	H28年度 事業完了	工事(女改之長屋復元整備)	工事(女改之長屋復元整備)	工事(建築設備・外溝改修工事)
25		Ⅲ(活力)	観光レンタサイクル	市	継続実施	バイクピットの設定(19店舗) サイクリストウェルカムの宿の認定(4店 舗) (浜名湖観光圏)	バイクピットの設定(19店舗) サイクリストウェルカムの宿の認定(6店 舗) (浜名湖観光圏)	バイクピットの設定(19店舗) サイクリストウェルカムの宿の認定(6店 舗) (浜名湖観光圏)
26		Ⅲ(活力)	まちあるき観光プログラム等	市	着手	「オンパク」手法を活用した まち歩きプログラムの造成 (市民団体)	「オンパク」手法を活用した まち歩きプログラムの造成 (市民団体)	「オンパク」手法を活用した まち歩きプログラムの造成 (市民団体)
27		Ⅲ(活力)	特別史跡新居関所を中心とした地域・商業活性化の仕組み づくり (新居関所周辺活性化協議会など)	市民・市	継続実施	泉町展覧会が中心となって 旅籠まつりの開催	-	-

(注1)「種別」
A: まちの骨格を形成する道路体系の確立
B: 徒歩圏内の移動手段の確保
C: 拠点駅における乗り継ぎ利便性・快適性の向上

D: 駅周辺のバリアフリー化
E: まちの景観資源の保全・活用
※R2年度以降に実施予定の事業は表示から除く。

点検	事業進捗状況
赤	事業完了
黄	事業実施中
緑	取組み検討中、または未実施

No.	種別 (注1)	基本目標との関係	戦略における 取り組み項目・施策名	実施関係 機関	戦略における 実施予定	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 実績
1	A (i)	Ⅱ(利便性)	都市計画道路の再検証	市	再検証実施	—	—	—
2		Ⅲ(活力)	国道301号・新居浜名線(現道区間)の活用	国・県・市	着手	浜名湖サイクルツーリズム推進会議の実施	浜名湖サイクルツーリズム推進会議の実施	浜名湖サイクルツーリズム推進会議の実施
3	B (j)	Ⅲ(活力)	国道1号潮見バイパスの整備促進	国・県・市	着手	交通事故重点対策事業実施中	交通事故重点対策事業実施中	交通事故重点対策事業実施中
4		Ⅲ(活力)	(都)長谷岡崎線	県・市	着手	事業化に向けた要望・調整	事業化に向けた要望・調整	事業化に向けた要望・調整
5		Ⅱ(利便性)	(都)南部幹線	県・市	着手	事業化に向けた要望・調整	事業化に向けた要望・調整	事業化に向けた要望・調整
5		Ⅱ(利便性)	(都)松山茶屋松線→(都)大倉戸茶屋松線	県・市	H27年度 計画決定	—	—	—
					着手	事業着手・詳細設計・物件移転補償調査(新居地区)	用地買収・工事施工(新居地区)	用地買収・工事施工(新居地区)
7		Ⅱ(利便性)	【再掲】(都)松山弁天線→(都)浜名弁天線	市	着手	事業化に向けた調整	事業化に向けた調整	事業化に向けた調整
1		Ⅲ(活力)	【再掲】都市計画道路の再検証	市	再検証実施	—	—	—
8		Ⅲ(活力)	国道301号の整備推進	県	着手	工事施工	工事施工	工事施工
9		Ⅰ(安全・安心)	道路施設の長寿命化の推進	市	継続実施	計画に基づいた修繕の実施 川岸1号橋 修繕中	計画に基づいた修繕の実施 川岸1号橋 修繕中	計画に基づいた修繕の実施 川岸1号橋 修繕中
8	C (k)	Ⅰ(安全・安心)	【再掲】国道301号の整備推進	県	着手	工事施工	工事施工	工事施工
3		Ⅰ(安全・安心)	【再掲】国道1号潮見バイパスの整備促進	国・県・市	着手	交通事故重点対策事業実施中	交通事故重点対策事業実施中	交通事故重点対策事業実施中
8	D (l)	Ⅰ(安全・安心)	【再掲】国道301号の整備推進	県	着手	工事施工	工事施工	工事施工
5		Ⅰ(安全・安心)	(都)松山茶屋松線→(都)大倉戸茶屋松線	県・市	H27年度 計画決定	—	—	—
					着手	事業着手・詳細設計・物件移転補償調査(新居地区)	用地買収・工事施工(新居地区)	用地買収・工事施工(新居地区)
3	Ⅰ(安全・安心)	【再掲】国道1号潮見バイパスの整備促進	国・県・市	着手	交通事故重点対策事業実施中	交通事故重点対策事業実施中	交通事故重点対策事業実施中	
10	E (m)	Ⅲ(活力)	【仮称】浜松三ヶ日・豊橋道路(IC誘致)の事業化	国・県・市	計画路線位置付けの要望及びIC設置に向けた可能性の調整	本省・中整・愛知県・静岡県への要望活動参加	本省・中整・愛知県・静岡県への要望活動参加	本省・中整・愛知県・静岡県への要望活動参加
5		Ⅲ(活力)	(都)松山茶屋松線→(都)大倉戸茶屋松線	県・市	H27年度 計画決定	—	—	—
					着手	事業着手・詳細設計・物件移転補償調査(新居地区)	用地買収・工事施工(新居地区)	用地買収・工事施工(新居地区)
11	Ⅲ(活力)	新産業拠点における都市基盤整備手法の導入検討(浜名湖西岸地区)	市	着手	浜名湖西岸土地区画整理事業(市街化区域編入に係る協議資料他作成)	浜名湖西岸土地区画整理事業(土地区画整理組合設立認可資料作成)	浜名湖西岸土地区画整理事業(土地区画整理組合設立認可)	
12	F (n)	Ⅲ(活力)	道の駅情報発信(湖西イベント黒板など)	市	継続実施	湖西市観光振興協議会のウェブサイトによる情報発信	情報コーナーを利用した市内イベントのPR	情報コーナーを利用した市内イベントのPR
13		Ⅰ(安全・安心)	高齢者交通安全教室	警察・市	継続実施	13回実施(H31.3末)	12回実施(R2.3末)	2回実施(R3.3末)
14		Ⅰ(安全・安心)	交通安全教室の開催	学校・幼稚園 警察・市	継続実施	45回開催	39回開催	19回開催
15		Ⅰ(安全・安心)	交通安全キャンペーン(交通安全等推進事業)	警察・市	継続実施	JR駅にて交通安全啓発活動 道の駅にて交通安全啓発活動	JR駅にて交通安全啓発活動 道の駅にて交通安全啓発活動	JR駅にて交通安全啓発活動 道の駅にて交通安全啓発活動

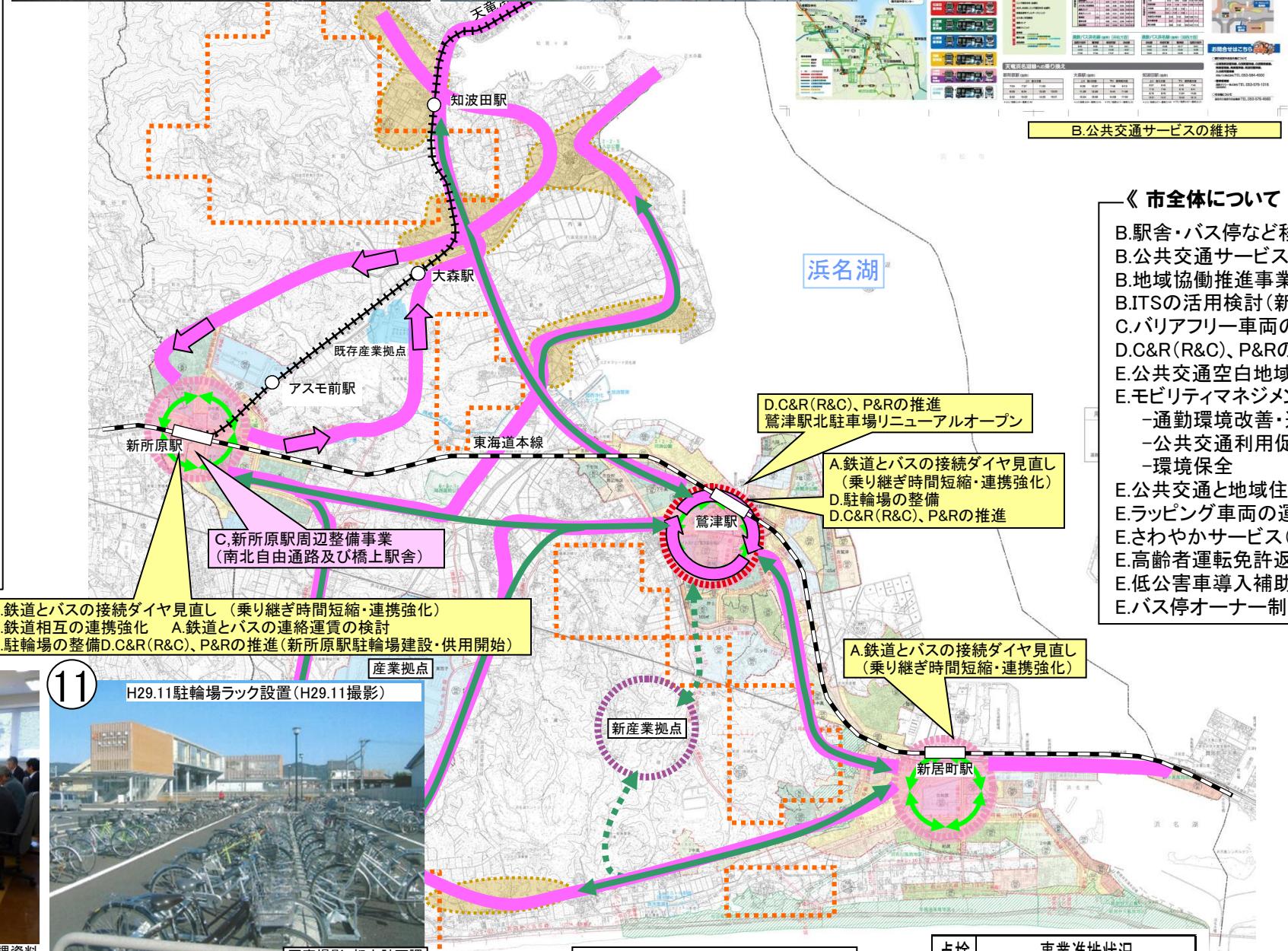
(注1)「種別」
A: 幹線道路網(都市計画道路網)のネットワーク幅員の見直し
B: 湖西市の骨格を形成し、活力を支援する都市計画道路未整備区間等の整備
C: 緊急輸送路の整備

D: 津波浸水区域内外を連絡する道路の整備
E: 構想路線等の計画推進
F: 道路交通安全の啓もう活動

点検	事業進捗状況
赤	事業完了
黄	事業実施中
緑	取組み検討中、または未実施

※R2年度以降に実施予定の事業は表示から除く。

公共交通ネットワーク【主な取り組み実績(R3.3末現在)】



D.公共交通と地域住民を近づける仕組みづくり (マイルール意識の向上促進)

A.鉄道とバスの接続ダイヤ見直し (乗り継ぎ時間短縮・連携強化)
 A.鉄道相互の連携強化 A.鉄道とバスの連絡運賃の検討
 D.駐輪場の整備 D.C&R(R&C)、P&Rの推進 (新所原駅駐輪場建設・供用開始)

D.C&R(R&C)、P&Rの推進 鷺津駅北駐車場リニューアルオープン
 A.鉄道とバスの接続ダイヤ見直し (乗り継ぎ時間短縮・連携強化)
 D.駐輪場の整備 D.C&R(R&C)、P&Rの推進

C.新所原駅周辺整備事業 (南北自由通路及び橋上駅舎)

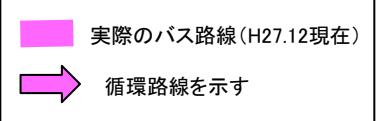
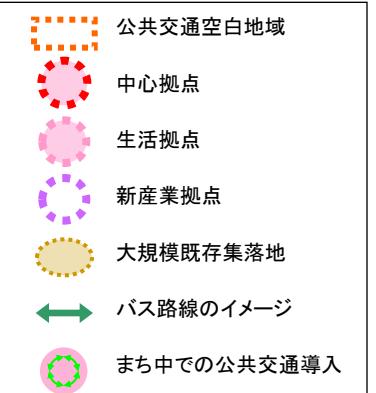


地域の实情に即した輸送サービスの実現 (湖西市地域公共交通会議による討議)



写真撮影:都市計画課

- 《市全体について》
- B.駅舎・バス停など移動空間の高質化
 - B.公共交通サービスの維持
 - B.地域協働推進事業への取り組み
 - B.ITSの活用検討(新しい交通システムの検討)
 - C.バリアフリー車両の導入促進
 - D.C&R(R&C)、P&Rの推進
 - E.公共交通空白地域における代替手段の検討
 - E.モビリティマネジメントの推進
 - 通勤環境改善・道路混雑緩和
 - 公共交通利用促進
 - 環境保全
 - E.公共交通と地域住民を近づける仕組みづくり
 - E.ラッピング車両の運行検討
 - E.さわやかサービス(移送サービス)による地域福祉の推進
 - E.高齢者運転免許返納支援(交通安全等推進事業)
 - E.低公害車導入補助(環境にやさしいエネルギー普及事業)
 - E.バス停オーナー制度の実施



点検	事業進捗状況
赤	事業完了
黄	事業実施中
緑	取り組み検討中、または未実施

※戦略目標年次(~H32)までの着手を目指すもの

No.	種別 (注1)	基本目標との関係	戦略における 取り組み項目・施策名	実施関係 機関	戦略における 実施予定	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 実績
1	A (o)	II (利便性)	鉄道とバスの接続ダイヤ見直しによる乗り継ぎ時間の短縮、連携強化	市 交通事業者	継続実施	公共交通空白地域へのデマンド型 交通導入に関する取り組みの実施 公共交通会による検討	公共交通空白地域へのデマンド型 交通導入に関する取り組みの実施 公共交通会による検討	公共交通空白地域へのデマンド型 交通導入に関する取り組みの実施 公共交通会による検討
2		II (利便性)	鉄道相互のサービス向上に向けた連携強化	市 交通事業者	継続実施	公共交通網形成計画に基づく事業の展開	公共交通網形成計画に基づく事業の展開	公共交通網形成計画に基づく事業の展開
3		II (利便性)	鉄道とバスの連絡運賃の検討	市 交通事業者	着手	地域公共交通会議による検討	地域公共交通会議による検討	地域公共交通会議による検討
4	B (p)	I (安全・安心)	駅舎・バス停など移動空間の高質化	市 交通事業者	継続実施	待合ベンチ設置(3基)	バス停の維持管理(破損による修繕) 8箇所	バス停の維持管理(破損による修繕) 10箇所
5		I (安全・安心)	公共交通サービスの維持(バス相互の連携強化など)	市 交通事業者	継続実施	公共交通網形成計画に基づく事業の展開	公共交通網形成計画に基づく事業の展開	公共交通網形成計画に基づく事業の展開
6		II (利便性)	地域協働推進事業への取組み (例:地域の検討会・説明会の開催・公共交通マップの作成など)	市民・交通事業者 国・県・市	継続実施	コーちゃんバスの絵画展 バス教室(小学校)	コーちゃんバスの絵画展 バス教室(小学校)	コーちゃんバスの絵画展 バス教室(小学校) ※コロナ禍のため中止
7		II (利便性)	ITSの活用検討(新しい交通システムの検討)	市	着手	—	—	—
8	C (q)	I (安全・安心)	バリアフリー車両の導入促進	国・県・市 交通事業者	継続実施	全車両ノンステップバスによる運行(鷺津循環線を除く)	全車両ノンステップバスによる運行(鷺津循環線を除く)	全車両ノンステップバスによる運行(鷺津循環線を除く)
9		I (安全・安心)	南北自由通路及び橋上駅舎 (新所原駅周辺整備事業)	市	H29年度 事業完了	—	—	—
10	D (r)	II (利便性)	駅前広場・駐輪場の整備	市 交通事業者	着手	北口駅前広場の整備 南口駅前広場の整備	— (H30事業完了)	—
11		IV (環境)	C&R(R&C)、P&Rの推進	市	継続実施	-	-	-
12	E (s)	I (安全・安心)	公共交通空白地域における代替手段の検討	市民・事業所 交通事業者・市	継続実施	デマンド型乗合タクシー実証実験の実施	デマンド型乗合タクシー実証実験の実施	デマンド型乗合タクシー実証実験の実施 一部本格運行へ移行
13		IV (環境)	モビリティマネジメントの推進	市民・事業所 交通事業者・市	継続実施	コーちゃんバス絵画展 バス教室(小学校)	コーちゃんバス絵画展 バス教室(小学校)	コーちゃんバス絵画展 バス教室(小学校) ※コロナ禍のため中止
14	D (r)	III (活力)	公共交通と地域住民を近づける仕組みづくり (マイルール意識の向上促進)	市 交通事業者	継続実施	ヘルシーウォーク	ヘルシーウォーク	ヘルシーウォーク ※コロナ禍のため中止
15	E (s)	III (活力)	ラッピング車両の運行検討	市 交通事業者	着手	継続実施(追加1台 計6台)	継続実施(車両更新により未実施1台 計5台)	継続実施(実施済4台 未実施2台)
16		I (安全・安心)	さわやかサービス(移送サービス)による地域福祉の推進	社会福祉協 議会	継続実施	移送サービス:90件(H31.2末) 車両貸出:44件(H31.2末)	移送サービス:111件(R2.2末) 車両貸出:79件(R2.2末)	移送サービス:122件(R3.2末) 車両貸出:90件(R3.2末)
17		I (安全・安心)	高齢者運転免許返納支援(交通安全等推進事業)	市	継続実施	免許返納支援補助金申請者 190人(H31.3末)	事業終了	-
18		IV (環境)	低公害車導入補助(環境にやさしいエネルギー普及事業)	市	継続実施	28件	10件	5件
19		III (活力)	バス停オーナー制度の実施	市民・市	継続実施	21件実施(継続19件・新規2件)	21件実施(継続21件)	22件実施(継続20件)

(注1)「種別」
A: 鉄道・バスの連携強化
B: 快適に移動できる公共交通
C: 鉄道駅周辺のバリアフリー化

D: 公共交通機関と道路交通の連携強化
E: 市民協働による公共交通利用促進の意識高揚

※R2年度以降に実施予定の事業は表示から除く。

点検	事業進捗状況
赤	事業完了
黄	事業実施中
緑	取り組み検討中、または未実施